

【エクアドル内政・外交：2013年11月】

1. 内政

(1) レニン・ララ法務・人権・宗務大臣の辞任

ア コレア大統領は20日付大統領令第163号を以て、レニン・ララ法務・人権・宗務大臣の辞任を了承し、後任にホセ・セラノ内務大臣を任命した（内務大臣と兼務）。

イ ララ前大臣は、2014年2月のエルメラルダス市長選に出馬する。

2. 外交

(1) コレア大統領のフランス訪問

ア 7日、コレア大統領は、オランダ仏大統領とエリゼ宮殿において会談し、高等教育及び科学技術に関する協力協定及び経済協力協定に署名した。

イ （フランスを）公式訪問中のコレア大統領は、仏政府の歓迎に感謝の意を表するとともに対仏貿易収支が黒字であること、仏からエクアドルへの投資が重要であること等に言及するとともに、「我々にとってベストの協力とは先進国からの科学技術及び人材育成にかかる協力である。われわれは、（エクアドルの）発展のためにそれらが必要であることを理解している」旨述べた。

ウ 一方、オランダ仏大統領は、エクアドル及び仏の両国が、これまでの友好関係及び協力関係をさらに深化させる共同戦略に言及し、「大学レベル及び技術分野での協力に関し可能なことはすべて行いハイレベルでの交流を行う。急速に発展しつつあるエクアドルに対して必要な協力を提供する用意がある」旨述べた。

エ コレア大統領は、オランダ仏大統領にエクアドル公式訪問を要請した。また、今般のエクアドル大統領のフランス公式訪問は22年ぶりのことである。

(2) コレア大統領のペルー訪問

ア 14日、ペルーのピウラにおいてエクアドル・ペルー首脳会談及び第7回合同閣僚会合が開催された。両国大統領は、国境の保健環境改善5カ年計画、両国を相互連結させる50キロワットの国際送電線の設置、石油の不正取引の取り締まり、人身売買予防における協力、相互間の知識や実践の共有、CAFと国税庁の間の無償技術協力等に署名した。

イ コレア大統領は、二国間で共有された社会基本方針の17項目のうち9項

目、またインフラや連結に関する基本方針の14項目のうち7項目が既に履行されていることに言及し、国民の威厳、平等、正当性を確立できるよう平和の構築を実施する必要性を述べた。

一方、ペルー大統領は、今次会合は、進歩と発展のため二国間が協力するという教訓を世界に与えていると述べ、平和を構築、維持する政府の責任に言及した。

(3) パティーニョ外務大臣の中国訪問

ア Li Jiexiang中国国家観光局長との会談

(ア) 19日、パティーニョ外務大臣は、Li Jiexiang中国国家観光局長と会合を行い、中国とエクアドル双方の観光を促進するため、両国における観光広報の実施、中国企業によるホテルなどのインフラ整備の促進等について話し合うとともに、エクアドル - 中国航空サービス協定に署名した。

(イ) パティーニョ外務大臣は、「今回の訪問が両国の観光客の増加を促進するきっかけになることを期待している」と述べた。

イ WangChao商務副部長との会談

19日、パティーニョ外務大臣はWang Chao商務副部長と会談し、将来の通商協定締結へ向けた研究を行うため専門家会合を設置することで合意した。